

久喜市江面地区における小学校の統合に係る  
施設整備基本計画

令和元年12月25日

久喜市教育委員会策定

## 【 目 次 】

1. 学校施設整備の基本的な考え方・・・・・・・・・・ p. 1
2. 既存学校施設の概要・・・・・・・・・・ p. 2
3. 既存校舎等の現況・・・・・・・・・・ p. 4
4. 既存学校施設の整備に関する基本計画・・・ p. 5
5. 今後の整備スケジュール（案）・・・・・・・・ p. 6
6. その他・・・・・・・・・・ p. 7

## 1. 学校施設整備の基本的な考え方

久喜市教育委員会では、子どもたちの教育環境の充実を図る目的で、市内小・中学校の適正規模・適正配置の推進を図っているところです。

このようなことから、平成29年1月には、「久喜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」を策定し、小規模化の著しい学校の統廃合等の検討を進めています。

このような中、久喜市江面地区に所在する久喜市立江面第二小学校については、平成31年度（令和元年度）から複式学級の編制基準に該当するなど、小規模化が著しいことから、関係学校の保護者・地域住民にご理解をいただいたうえで、次のとおり学校の統合に関する方針を決定したところです。

『久喜市立江面第一小学校と久喜市立江面第二小学校を統廃合し、令和3年4月1日に統合による新たな学校（以下、「新校」という。）を設置する。

新校の位置は、現在の久喜市立江面第一小学校の位置とする。』

（※久喜市教育委員会平成31年3月定例会において議決）

新校を開校するにあたっては、子どもたちにとって、より良い教育環境としていく必要があることから、久喜市立江面第一小学校の施設等を改修することで、新校の幕開けにふさわしい、綺麗に整った学校を創っていく考えであります。

このようなことを踏まえ、教育委員会では、以下の考えに基づいて、久喜市立江面第一小学校の既存学校施設の整備を行うものとします。

### （1）安全で安心して使用できる学校施設の整備

- ①長期間にわたって安全であり、子どもたちが普段から安心して使用できる施設を整備します。
- ②不測の災害等に対しても、安全な施設を整備します。
- ③子どもたちだけでなく、教職員、保護者、校区内の地域住民等にとっても使いやすい施設を整備します。

### （2）教育環境の向上を図るための整備

- ①子どもたちが学校生活を快適に過ごすことができる環境を整備します。
- ②教育・学校生活の基本的な場所となる普通教室等の環境を整備します。

### （3）整備の進め方に関する基本的な考え

- ①学校施設等の現況を詳細に調査し、整備が必要な部分を特定します。
- ②学校運営で必要な環境整備について、学校と協議・検討を重ねます。
- ③教育環境の充実を図ることができるように、必要に応じて学校施設等の改修設計を進めます。

## 2. 既存学校施設の概要

久喜市立江面第一小学校の主要な施設は、昭和52年建築の管理・普通教室棟、昭和60年建築の特別教室棟、昭和51年建築の屋内運動場（体育館）などがあり、管理・普通教室棟と屋内運動場については、耐震補強による大規模改修を行うことで、耐震性を備えた経緯があります。

### 【近年における工事の履歴】

#### ※管理・普通教室棟

平成25年 大規模改修：耐震補強、トイレの一部洋式化、外壁塗装工事

平成28年 各普通教室にエアコン整備

#### ※特別教室棟

平成28年 各特別教室にエアコン整備

#### ※屋内運動場（体育館）

平成22年 耐震補強

#### ※プール

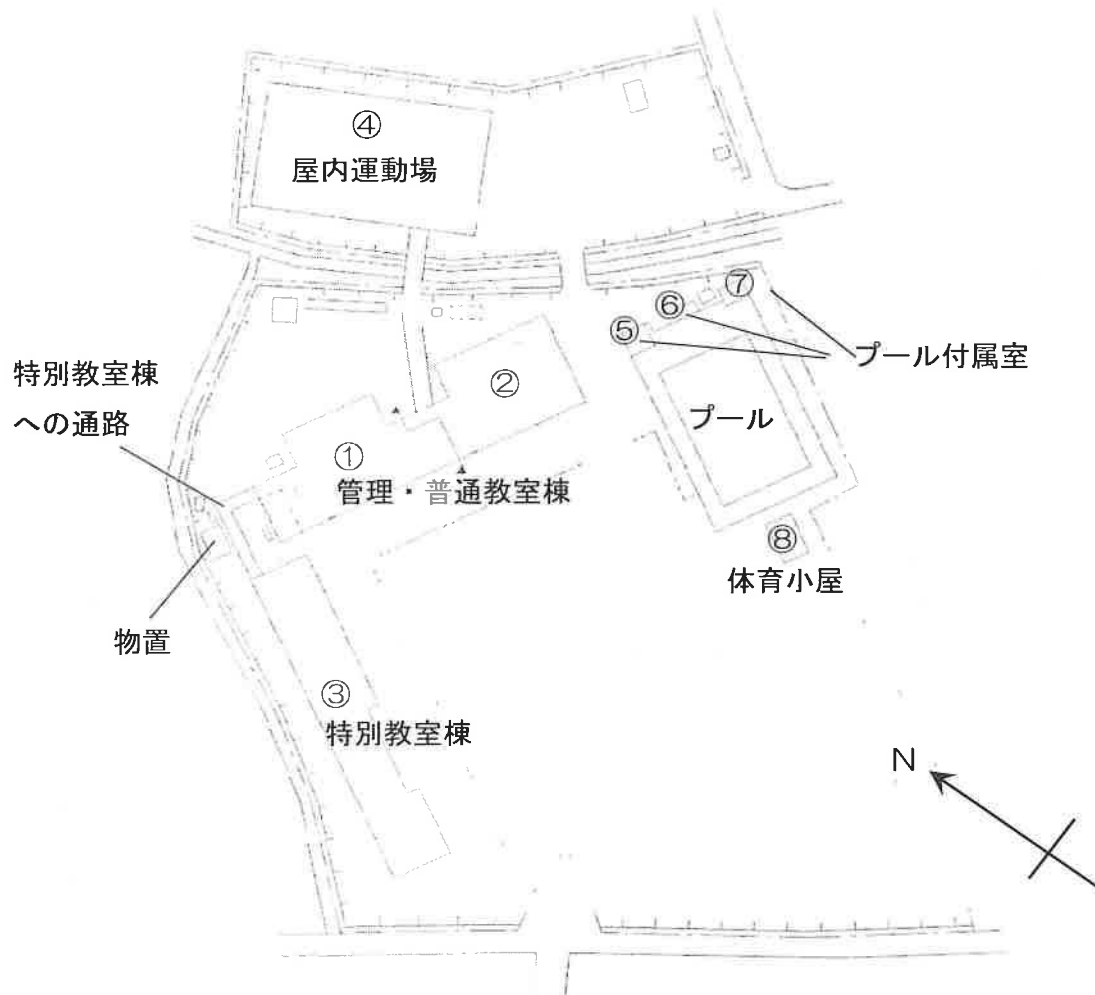
平成30年 改修

### 【施設等の概要】

番号	施設名称	建築年月	延床面積	構造・階数	備考
①	管理・普通教室棟	S52. 3	1,256 m <sup>2</sup>	RC造 3階	H25 大規模改修
②	管理・普通教室棟	S52. 5	1,110 m <sup>2</sup>	RC造 3階	H25 大規模改修
③	特別教室棟	S60. 2	925 m <sup>2</sup>	RC造 2階	
④	屋内運動場	S51. 5	854 m <sup>2</sup>	鉄骨造 2階	H22 地震補強
⑤	プール付属室	S42. 7	18 m <sup>2</sup>	鉄骨造 1階	H30 改修
⑥	プール付属室	S42. 7	11 m <sup>2</sup>	鉄骨造 1階	H30 改修
⑦	プール付属室	S42. 7	14 m <sup>2</sup>	鉄骨造 1階	H30 改修
⑧	体育小屋	H3. 12	32 m <sup>2</sup>	鉄骨造 1階	

※RC造・・・鉄筋コンクリート造

【施設等の配置図】



### 3. 既存校舎等の現況

(※学校関係者・準備委員会委員からの意見を取りまとめたものです。)

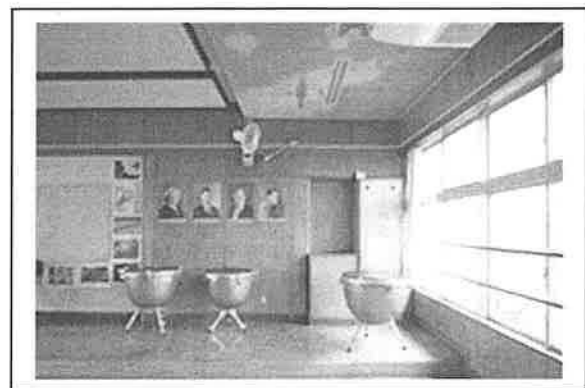
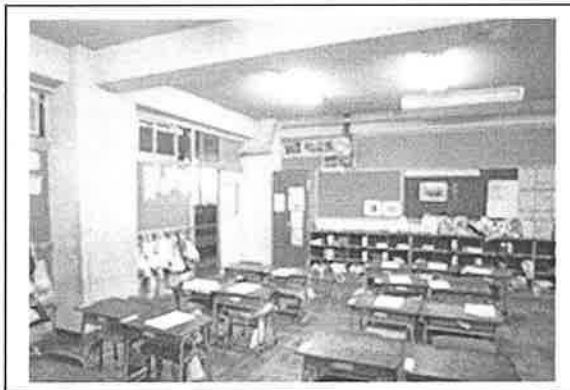
#### 【管理・普通教室棟】

- トイレの一部が和式便器のみである。
- 各普通教室のロッカーが古く、容量が小さい。
- 各普通教室に本棚などが不足している。
- 各普通教室及び通路の天井、内壁、床の老朽化が進んでいる。
- 校舎内の照明が薄暗く感じる箇所がある。
- 各普通教室の扉に鍵がなく、防犯上、教材等を置いたままにできない。
- 1階生活科室にエアコンが設置されていない。
- 会議室や放課後児童クラブのスペースが不足している。

#### 【特別教室棟】

- トイレが建築当時のままであり、和式便器のみで、湿式床となっている。
- 校舎屋上の防水処理が劣化し、雨漏りが頻繁に発生している。  
これに伴い、雨漏りしている教室（音楽室等）の天井等が痛んでいる。
- 校舎の外壁や構造物が劣化し、コンクリートの剥離やひび割れがある。
- 校舎西側の地盤が沈下しており、校舎と地表面との間に段差がある。
- 各特別教室及び通路の天井、内壁、床の老朽化が進んでいる。
- 校舎内の照明が薄暗く感じる箇所がある。
- 管理・普通教室棟への2階連絡通路が設置されていない。

【主な箇所の現況写真】（上段2枚は管理・普通教室棟 下段2枚は特別教室棟）



#### 4. 既存学校施設の整備に関する基本計画

久喜市立江面第一小学校の既存施設は、統合による新校で想定される児童数、学級数を収容できる規模であるものの、校舎の各箇所で老朽化による痛み等が見られるため、教育環境の整備を目的として、改修を行う必要があります。

耐震面については、すでに耐震基準を満足するだけの改修工事を実施しているため、改修にあたっては、老朽化した箇所の改善を図るほか、子どもたちが使いやすいよう、建物備え付けの設備や備品等について更新を行います。

##### 【「学校施設整備の基本的な考え方」に基づく整備内容】

###### (1) 安全で安心して使用できる学校施設の整備

- 老朽化が特に進んでいる特別教室棟について、現況を十分に精査し、必要な設計業務を実施して、長期間にわたって安心・安全に使用できる大規模改修工事を実施します。
- 工事においては、躯体等の不具合を修繕するだけでなく、トイレの改修、雨漏りを防ぐ屋上防水や内装等に係る修繕なども併せて実施します。
- 安全で安心して使用できる学校施設の整備を図る観点から、特別教室棟と管理・普通教室棟を結ぶ連絡通路の設置について検討します。
- 保護者や地域住民など、誰もが学校を使いやすいように、多目的トイレの設置を進めます。

###### (2) 教育環境の向上を図るための整備

- 校舎のトイレを洋式化します。
- 校舎内の照明灯をLED化し、明るい環境に改善します。
- 教室や通路の天井、内壁を塗装するほか、床を補修し、綺麗な環境に改善します。
- 普通教室等のロッカーを更新するほか、本棚等を増設し、学用品や教材等を収納しやすくします。
- 普通教室等の扉に鍵を設置し、教材等を置いても防犯上安心できるようにします。
- 管理・普通教室棟1階の生活科室にエアコンを設置します。
- その他、老朽化している備品等の更新についても必要に応じて進めます。

## 5. 今後の整備スケジュール（案）

令和3年4月1日の新校の開校を踏まえながら、子どもたちの安全を確保し、学校の教育環境を充実するため、次のスケジュール案で施設整備を進めます。

### 【令和元年度】

- 現況について詳細の把握
- 学校との協議・調整
- 施設整備基本計画（※本計画）の策定  
⇒策定にあたっては、「久喜市立江面第一小学校と久喜市立江面第二小学校の統合による新校設立準備委員会」会議において承認を得たうえで、久喜市教育委員会の定例会における議決を受けるものとします。  
基本計画の策定は、令和元年12月末までに実施します。
- 管理・普通教室棟の改修に係る実施設計業務（※補正予算にて対応）
- 必要予算の確保（令和2年度実施事業分）

### 【令和2年度】

- 管理・普通教室棟のトイレ改修工事
- 管理・普通教室棟の照明交換工事
- 管理・普通教室棟の内装修繕工事（天井、内壁の塗装や床の修繕）
- 管理・普通教室棟のロッカー、棚等の設置工事
- 管理・普通教室棟の教室における扉の更新工事（鍵の設置）
- 管理・普通教室棟の生活科室エアコン設置工事
- 特別教室棟の大規模改造に係る設計業務  
⇒当該設計業務では、管理・普通教室棟と特別教室棟を連結する連絡通路の設置について、配置、概算費用、法令上の課題等に関する検証も行います。
- 特別教室棟への通路の脇にある物置に関する対応の検討
- 必要予算の確保（令和3年度実施事業分）
- ※普通教室に係る工事については、夏休み期間など、児童が学校にいない期間内に施工します。

### 【令和3年度（新校の開校年）】

- 特別教室棟の大規模改造工事に着手（工期：約1年間を想定）  
⇒外部躯体や屋上防水の修繕、トイレの改修、内装の修繕等を行う。
- 校舎間を連結する連絡通路の設置に関する検討  
⇒ただし、当該連絡通路に関する設計の結果に基づき、実現性や緊急性等について精査するとともに、市の財政状況や公共施設の維持管理に関するあり方を総合的に勘案しながら、工事等の実施を検討するものとします。



## 6. その他

### (1) 学校敷地

久喜市立江面第一小学校の敷地は 13,949 平方メートルで、運動場の面積は 5,674 平方メートルとなっています。

令和元年 5 月 1 日現在の住民基本台帳の記録を参考に推計したところ、統合後の新校における令和 3 年度の見込み児童数は、206 人であることから、現在の学校敷地の面積が確保されていれば、新校における教育活動において支障なく実施できるものと考えられるため、このたびの統合に際して、学校敷地の拡張は考慮しないものとします。

なお、今後、特色ある学校づくりを進めていく中で、学校敷地の拡張が必要と考えられる場合は、費用対効果、学校教育の将来的な展望などを総合的に勘案したうえで検討するものとします。

### (2) 施設整備

本計画に基づき、既存学校施設の環境整備を行うことを基本としますが、今後、特色ある学校づくりを進めていく中で、新たな施設整備が必要と考えられる場合は、費用対効果、学校教育の将来的な展望などを総合的に勘案したうえで検討するものとします。

また、放課後児童クラブの施設については、関係課と連携し、保育スペースの確保に向けた検討を進めます。

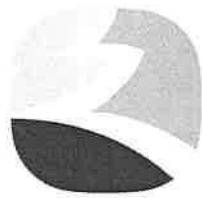
なお、プールについては、平成 30 年に改修工事を実施したところであるため、新たな改修等は実施しないものとします。

### (3) 遊具・備品等の対応について

校庭の遊具や、学校の備品等については、次の考え方にに基づき、個別に対応を検討します。

○遊具については、安全点検の結果をもとに、老朽化が著しく使用不可となっているものから、計画的に必要な修繕・更新を進めます。

○机・椅子などの教育活動に必要な備品等については、両校の現在の備品等を精査の上、使用可能なものは新校において活用し、不足しているものや更新が必要なものについては、統合までの間に対応できるよう、検討を進めます。



久喜市江面地区における小学校の  
統合に係る施設整備基本計画

令和元年12月25日

久喜市教育委員会